

年

1. 経歴・狭山とのかかわり



兄の東次郎と宗論を演じる

彼は、三世山本東次郎の二男として東京都杉並区和田に生まれる。本名倫士（つねお）。兄の四世東次郎・弟の則俊とともに“山本三兄弟”として知られる。父に師事し、1944（昭和19）年、「以呂波」のシテ（主役）で初舞台。1957（同32）年より日本能楽会会員になる。若手狂言師の同人組織「狂言新の会」を結成する。新作能や復曲に参加、海外の公演も多い。長男の泰太郎・二男の則孝・孫の凜太郎も狂言師として活躍する。

1965（同40）年、狭山市水野に転居。1971（同46）年に泰太郎が、1973（同48）年に則孝が誕生。泰太郎・則孝兄弟が狭山市立南小学校に在学中、狂言鑑賞教室を催し、

国語教科書に採用された「附子」を親子（主人：則直、太郎冠者：泰太郎・則孝）で演じ、話題を呼ぶ。狭山市に関連した狂言「入間川」があることから、狭山市立水野公民館が則直と東次郎を講師に「水野実年大学狂言『入間川』」を開催。講座終了後、受講者から要望があり、有志により「狂言入間川を観る会」が発足する。そして1993（平成5）年、狭山市民会館で第1回狂言鑑賞会が開催された。以来コロナ禍を除き中断なく続けられ、2023（令和5）年3月には第27回が開かれる。狂言鑑賞会は狭山市民の恒例行事となり、シニア世代を中心に大きな期待と温かい支持を得ている。

2. 主な業績

1964（昭和39）年に芸術祭奨励賞を、1976（同51）年に芸術選奨新人賞を受賞する。25歳の若さで芸を認められ、1992（平成4）年に重要無形文化財に指定される。さらに2005（同17）年に芸術選奨文部科学大臣賞を、2007（同19）年に紫綬褒章を受賞する。そして、泰太郎・則孝・凜太郎の「狭山三人組」は父則直の偉大な遺訓を継ぐべく狂言鑑賞会・狂言講演会・狂言鑑賞教室を開催し、伝統文化の継承と伝承に尽力している。

3. 特筆

大名狂言での傑出した則直の芸は、多くの観客の心を掴み、熱心なファンを生んだ。彼の逝去を悼んだ歌人・水原紫苑さんは、詩集『武悪の人ひとへ』で次のように芸風を偲んでいる。

「2010年4月23日、一人の能楽師が逝去されました。享年71。狂言方で、確固たる身体に基づいた、剛直な芸風の聞こえ高い人でした。豪放磊落にして純粋無垢なお人柄に魅了され、迫力あふれる舞台を生きる支えにしてくれました」（「あとがき」より）

【狂言の種類】

脇狂言：末広がり他 / 大名狂言：入間川・武悪他 / 小名狂言：附子他 / 髻狂言：二人袴他 / 女狂言：箕被他 / 鬼山伏狂言：柿山伏・髭櫓他 / 出家座頭狂言：月見座頭・宗論他 / 集狂言：茶壺・花子他

〈参考文献〉『大蔵狂言 山本東次郎家』

